



2学年「総合的な探究の時間」

2学年の「総合的な探究の時間」では、今年度「地域のことを考える」をテーマに取り組んでいます。1学期はまず地域について知り、その上で生徒たちが様々な視点から地域の現状や課題について考えていくことを目標としています。

5月23日：地域包括支援センター保健師の中さんから、「地域の福祉について」

6月6日：串本町産業課の小西さんと上野さんから、「串本地域の特徴について」

6月13日：もりとよ商店の森さんから、「地域で生きることの意味と意義について」それぞれお話をいただきました。

串本で生まれ育ち、目の前に広がる風景を当たり前のもので過ごしてきた生徒にとって、改めて自分が過ごしている町の素晴らしさを再認識できる機会となりました。また、親や先生ではない大人の話聞くことで、自分の将来とつなげて考えられるロールモデルをイメージできたのではないのでしょうか。



くろしお塾「地域みらい学」

県内では唯一、学校敷地内に設置された公営塾の「くろしお塾」が、このほど外部から講師を招いて「地域みらい学」を実施しました。

普段は、放課後に大学進学や資格取得に向けた学びの場として機能している「くろしお塾」ですが、今回は豊かな自分づくりを支援するための機能として、未来の自分や地域を考えるための機会を設定しました。



大阪観光大学より小野田金司先生を講師に招き、「2019年の『欧米人の訪問すべき日本の観光地で熊野地域は第1位』の秘密を探る」と題してご講義いただきました。なぜ欧米豪を中心としたツーリストは熊野を目指すのか、その謎解きをユーモアを交えながら解説いただきました。



校内にバナナ?

八丈島とほぼ同じ緯度の温暖な地域に位置する本校ですが、敷地内にバナナにそっくりの芭蕉（ばしょう）の木があるのはご存じでしょうか？食用には適さないそうですが小指の大きさほどのバナナにそっくりな実がなっています。あなたも見つけてみてください。

